

東北地方 1 か月予報

(6 月 2 0 日から 7 月 1 9 日までの天候見通し)

平成 2 1 年 6 月 1 9 日
仙台管区气象台発表

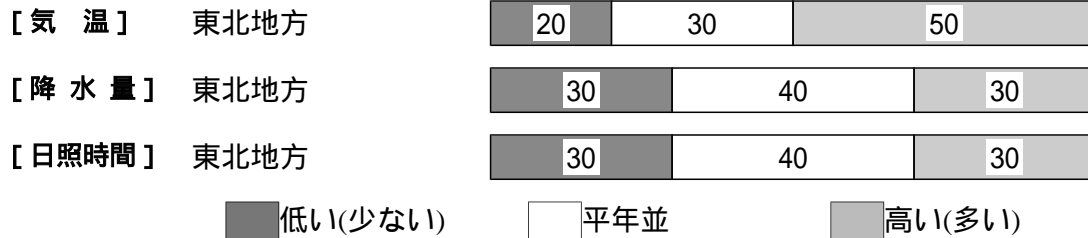
<特に注意を要する事項>

東北太平洋側では、日照時間の少ない状態が続いています。このような状態は今後 1 週間程度は続く見込みです。農作物の管理に十分注意してください。

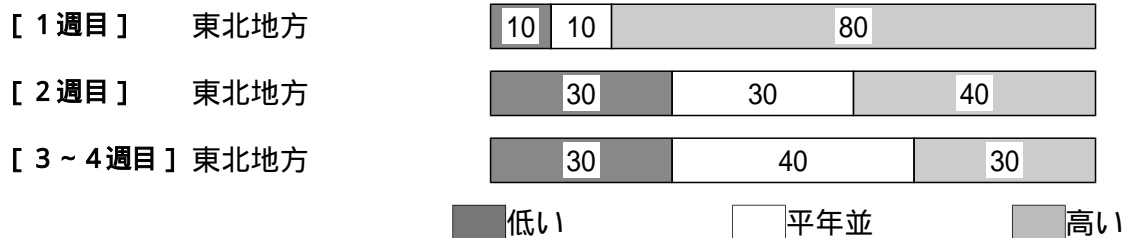
<予想される向こう 1 か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。
向こう 1 か月の平均気温は高い確率が 5 0 % です。
週別の気温は、1 週目は高い確率が 8 0 % です。

<向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



<気温経過の各階級の確率 (%) >



<予報の対象期間>

1 か月 : 6 月 2 0 日 (土) ~ 7 月 1 9 日 (日)
1 週目 : 6 月 2 0 日 (土) ~ 6 月 2 6 日 (金)
2 週目 : 6 月 2 7 日 (土) ~ 7 月 3 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 7 月 4 日 (土) ~ 7 月 1 7 日 (金)

<次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 6 月 2 6 日
3 か月予報 : 6 月 2 5 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	19.3	94.5	167.3	17.8	18.6	20.1
深浦	19.6	136.6	166.0	18.0	18.9	20.3
むつ	17.8	124.0	142.5	16.2	17.1	18.6
八戸	18.3	118.1	153.8	16.7	17.6	19.1
秋田	21.0	182.3	155.5	19.7	20.4	21.7
盛岡	20.1	155.8	129.9	18.8	19.5	20.8
大船渡	19.3	188.1	131.0	17.9	18.7	20.1
宮古	18.1	146.9	128.0	16.6	17.4	19.0
仙台	20.3	181.5	107.2	18.8	19.5	21.1
石巻	19.6	146.7	126.3	18.3	19.0	20.4
山形	21.5	149.6	130.6	20.1	20.8	22.3
新庄	20.7	196.5	129.8	19.3	20.1	21.4
酒田	21.4	195.0	152.6	20.0	20.8	22.1
福島	21.7	160.5	110.9	20.3	21.0	22.6
若松	21.8	175.0	137.9	20.4	21.1	22.5
白河	20.3	206.0	105.0	18.9	19.6	21.2
小名浜	20.2	162.4	122.9	18.9	19.6	20.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.4	87 ～ 113	90 ～ 110
東北日本海側	-0.4 ～ +0.4	85 ～ 111	91 ～ 106
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.4	85 ～ 111	87 ～ 113

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.5	-0.7 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.5
東北日本海側	-0.5 ～ +0.5	-0.5 ～ +0.6	-0.5 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.4	-0.8 ～ +0.6	-0.6 ～ +0.5

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 21 年 6 月 19 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月（6 月 20 日～7 月 19 日）：

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

東北太平洋側では、6 月に入って日照時間の少ない状態が続いています。このような状態は今後 1 週間程度は続く見込みです。農作物の管理に十分注意してください。

平均気温は高い確率が 50% です。

1 週目（6 月 20 日～6 月 26 日）：

梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が 80% です。

2 週目（6 月 27 日～7 月 3 日）：

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

3～4 週目（7 月 4 日～7 月 17 日）：

前線やオホーツク海高気圧の影響により、東北地方は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

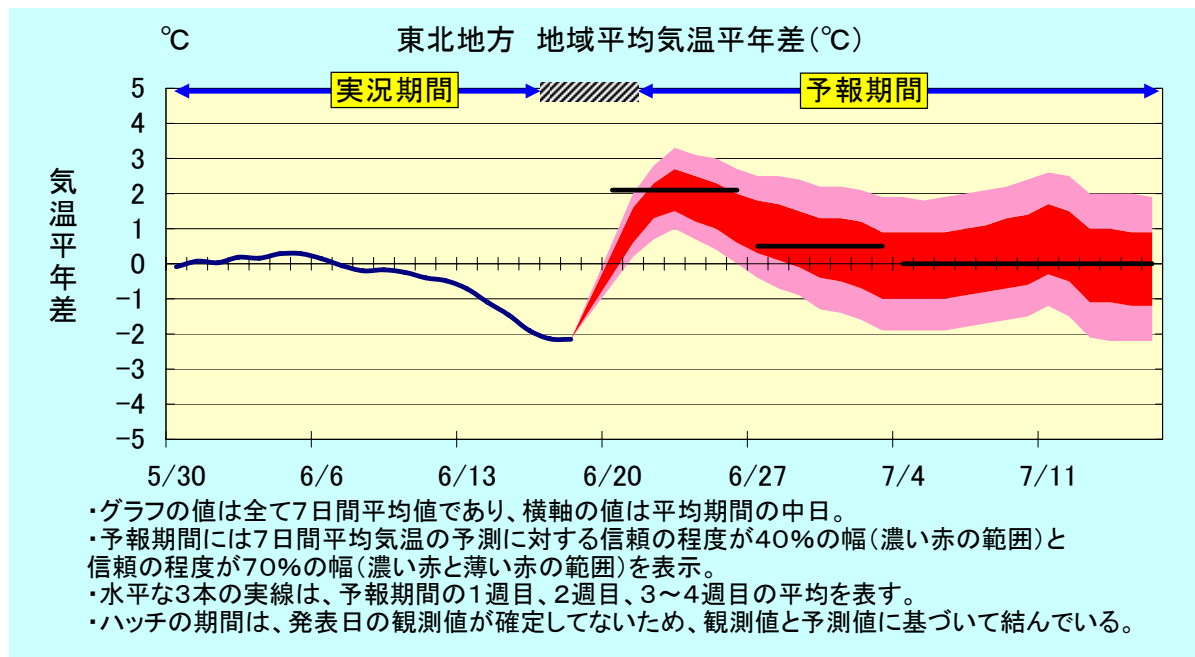
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	11.0 日	2.9 日	2.7 日	5.4 日
東北太平洋側	9.2 日	2.3 日	2.2 日	4.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目は平年を大きく上回り、2 週目、3～4 週目はともに平年付近の予想となっている。

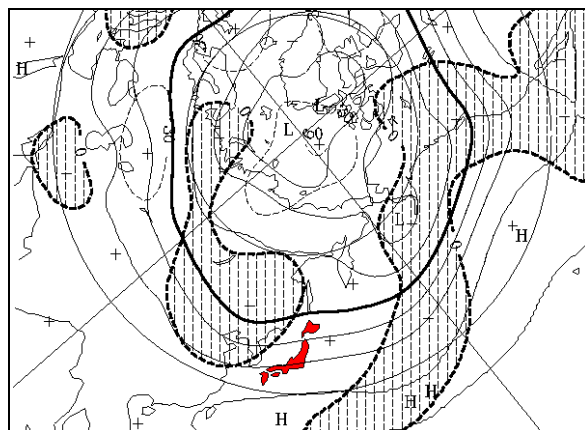


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

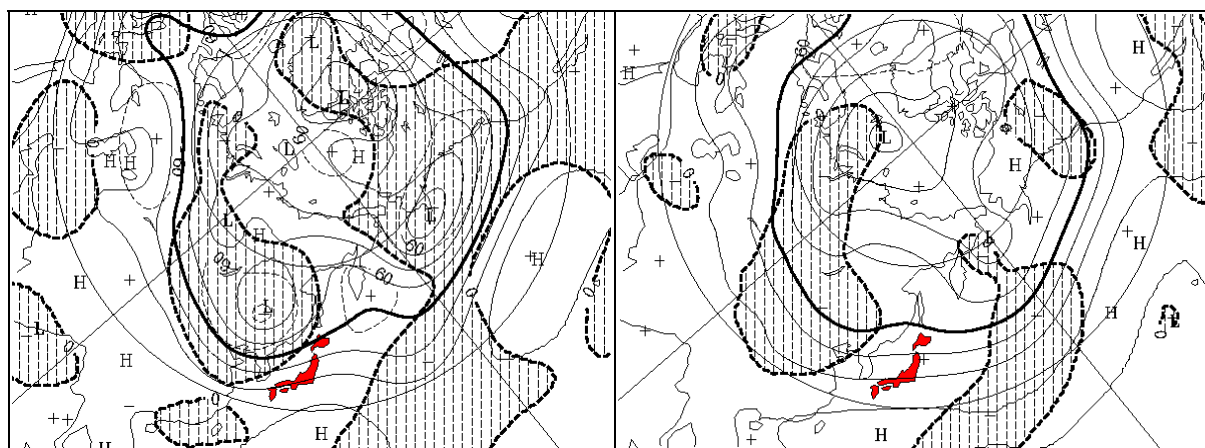
1か月平均: 極東域の中緯度帯はユーラシア大陸から連なる正負の波列が見られる。日本付近は日本の東海上を中心とした正偏差となっており、高温傾向が見込まれる。

1週目: 日本付近はカムチャツカ半島付近を中心に日本の東海上から南海上にかけて正偏差。西谷傾向が強い。南からの暖かく湿った空気が入りやすく、気温は高くなる見込み。また、梅雨前線の活動も活発になると予想される。

2週目: 日本付近は引き続き正偏差だが、1週目に比べて偏差は小さく、西谷傾向も解消する見込み。日本の北側は気圧の尾根となっていて、オホーツク海高気圧が発達する可能性がある。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は 30m 毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

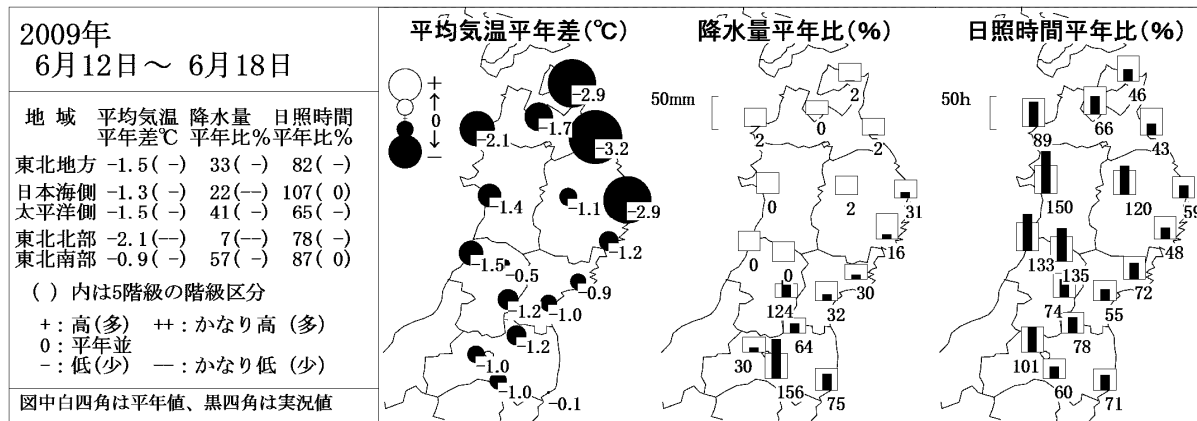
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（6月12日～6月18日）の天候の経過

この期間は、気圧の谷や寒気、湿った東風の影響により、東北太平洋側を中心に曇りや雨の日が多く、低温となった。特に、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った北東風が入った東北太平洋側北部の沿岸部では顕著な低温、寡照となった。一方、東北日本海側では期間の中頃に晴れる日もあった。また、東北地方への低気圧や梅雨前線の影響は小さく、降水量は東北北部を中心に少なかった。

平均気温は東北北部でかなり低く、東北南部で低い。降水量は東北北部でかなり少なく、東南北部で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）